

2019年6月20日

QB 第一号ファンド 「九州大学による CTC 分離回収技術事業化プロジェクト」への出資について

当社の子会社である西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、本日、「QB 第一号ファンド『九州大学による CTC 分離回収技術事業化プロジェクト』への出資について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2019年6月20日

QB 第一号ファンド 「九州大学による CTC 分離回収技術事業化プロジェクト」への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「九州大学による CTC 分離回収技術事業化プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）に対してプレ投資※を行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

※プレ投資とは、大学発ベンチャーの課題の一つといわれる研究費と民間投資の間にある資金的ギャップを埋め、地域において有望な大学発ベンチャーの創出を目指す QB ファンド独自の大学発ベンチャーインキュベーションプログラムのこと。

記

1. プロジェクトの概要

プロジェクト名	九州大学による CTC 分離回収技術事業化プロジェクト
技術研究者	九州大学 先導物質化学研究所 田中 賢 教授 荒津 史裕 特任助教
事業内容	血液から CTC を選択的に回収する材料の開発

2. プロジェクトが目指すもの

本プロジェクトは、九州大学 先導物質化学研究所の田中 賢 教授が推進する生体物質の人工材料への吸着性を制御する高分子技術を基に、血液から CTC（血液循環腫瘍細胞）を選択的に回収する材料を開発し、ベンチャーによるがん診断等への展開を目指すものです。

以上

参 考

『QB 第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立した QB キャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

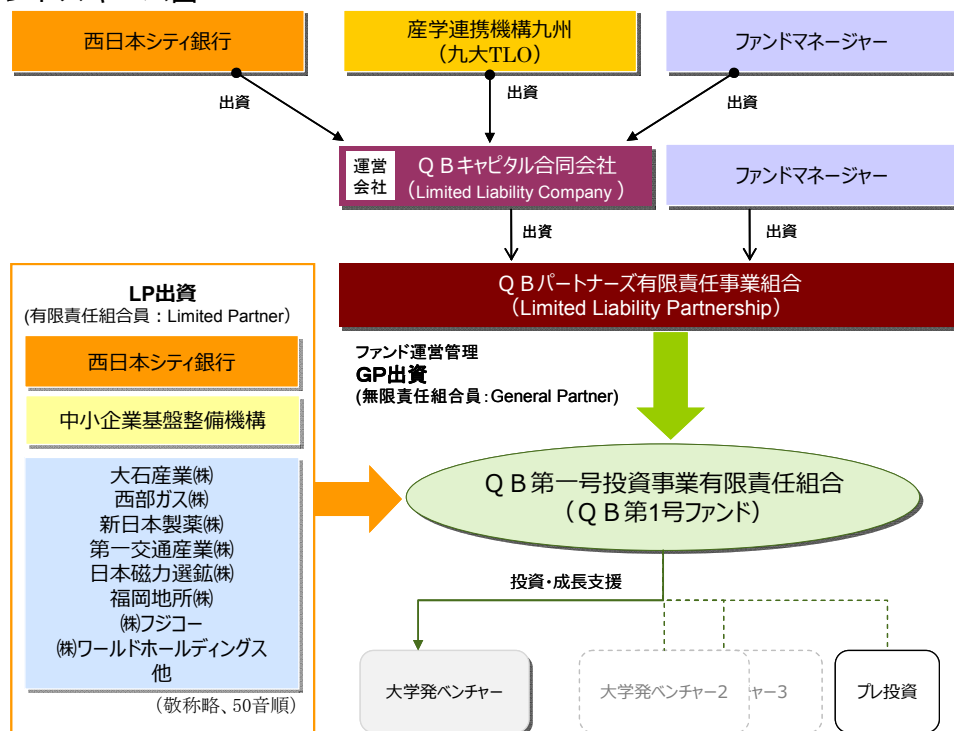
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	2015 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	2015 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・原田・多良木 TEL 092-476-2741